

桃三校内研究便り No.2

平成29年12月22日

桃井第三小学校 研究部

＜研究主題＞

「かしこい体 たくましい心」を育む指導法の工夫

2学期は運動会や音楽会など、子ども達の力が発揮される大きな行事がたくさんありました。校内では研究主題をもとに、毎月1回ずつ、4回の体育の研究授業を実施しました。それぞれの授業の様子をお知らせします。

9月20日(水) 5年1組 ベースボール型「ティーボール」 指導者：今城主任教諭
ベースボール型のゲームは「ルールが分かりにくい」という理由で苦手意識をもつ子どもがいます。そこで、ベースボール型の楽しさを大切にしながら、はじめはシンプルで分かりやすいルールを提示し、ゲームを行いました。その後、チームで振り返り、「みんなが楽しく、だれでも活躍することができるルール」にするための工夫を話し合いました。全員が思い切り体を動かしながら、ゲームを通して感じたことをもとに、どうしたらみんなが活躍できるルールになるのか、自分の思いや考えを伝え合いました。



10月12日(木) 6年1組 陸上運動「ハードル走」 指導者：田中主幹教諭

ハードル走において重要な「ハードルをリズムカルに走り越える」とはどういう走りなのか、うまく走れないぎこちなさを体感させることで子ども達に考えさせました。あえてハードルの間隔をバラバラにしたコースを走り、うまくいかない動きをうまくいくように試行錯誤する中で、どうしたらよりリズムカルに気持ちよく走れるのか、意見を出し合いました。



11月15日(水) 2年1組 ゲーム「ボール投げゲーム」 指導者：谷田辺教諭

9月の5年生の研究成果をもとに、はじめのルールを児童が楽しみ、工夫ができるようできるだけシンプルなゲームにしました。攻守を分け、的に当てたら点が入るというルールから、攻守が入り混じったゲームにつなげていけるよう、的の数やルールの提示の仕方を工夫しました。もっと楽しくするためにはどうしたらよいか、どんなことに困ったかなど、子ども達から「こうしたい」という意見がたくさん出ました。



12月6日(水) 梅組 「風船バレーボール」 指導者：樋口主任教諭

梅組の子ども達はそれぞれ、実態やめあてに違いがあります。そこで、個々の児童に適しためあてを設定し、そのめあてに応じた小グループでの活動を取り入れた授業を行いました。みんながやってみようという気持ちを持ち、個々のめあてに向かって活動できるよう、グループごとにコートの形を変えたり、使用する風船の種類を変えるなどの工夫をしました。



3学期は1月に1年生の研究授業を行う予定です。
それぞれの授業の成果と課題をもとに、
1年間の研究のまとめを行います。